

■ TAC 税理士講座 合格者が語る必見セミナー レジューメ

雙木 達也(なみき たつや)

1. 税理士を目指したきっかけ

2. どのように取り組んで、どの程度勉強すればいいのか？

社会人受験 = 時間との戦い

「自分が進んでいる方向の感覚」を意識する

「何年で受かるか」をはじめに決める = スケジュール作成の重要性

→ 大きなスケジュール(何年で受かるか)と日々のスケジュール(毎日どのように勉強するか)

→ 機械的に「どのくらい勉強に充てるか」を決めてしまう

→ 一週間、一月～四月、五月～全答練、直前期

例) 月曜日は簿記のトレーニング、火曜日は財表の理論 など

→ 常に前倒して取り組む(特に、社会人にはラストスパートはあり得ない)

合格に必要な勉強レベル = TAC 講師の要求するレベル

→ 毎回の授業を必ず受けること(振替含む)

→ トレーニングは最低3回解く

→ 実力テスト等のアウトプットの機会には上位 30%の成績を取る

税理士試験の勉強に慣れてしまうこと = 「歯を磨くように」勉強する

スキマ時間の有効活用 ~ 電車は自習室

最初の1～2科目(簿財など)で結果を出して、勢いに乗ること

自分に合った講師をさがすこと

本試験を常に意識すること(過去問の研究)

→ 本物の試験問題を解くチャンスは試験当日だけ

→ 本試験と TAC 問題の違い = TAC の問題はクオリティが高すぎる(読みやすい)

ゲンをかつぐこと = 自分だけの「アンカー」をつくる

3. 勉強が嫌になったら？

勉強方法に悩んだら ~ TAC 講師の有効活用

自分なりの気分転換の方法(ドライブ、カラオケ、ライブ、映画、旅行)